

清瀬市の学校教育・生涯学習の「今」をお伝えする情報誌

日本の「清瀬」から世界の "Kiyose" へ

教育委員会だより

日本の「清瀬」から世界の "Kiyose" **きよせ**

47号

平成27年(2015年)
9月15日発行

卷頭特集

A photograph of a stone monument with Japanese text, set against a background of trees and a clear sky. The monument is dark and weathered, with the text '清瀬の歴史文化への取り組み' (Commitment to the History and Culture of Seaside) inscribed on it. The background shows a lush green landscape with trees and a bright sky.

清瀬の歴史文化への
取り組み

く豊かな自然や風土、歴史文化への理解を深めよう！く

[illegible]

不置地問：「知不知？」

「七夕竹
惜命の文字
隠れなし」

石田波郷句碑より

第48回東京都市町村総合体育大会開催

主な掲載記事

・図書館の資料で知ろう、清瀬の歴史文化・野塩地区の発掘調査から・東京都市町村総合体育大会・清瀬市総合教育会議を開催・放課後補習教室の様子・より良い授業づくりを目指して～夏季休業日中の教員研修から～・教育委員会の動き・清瀬の美味しい野菜を給食に取入れた学校の地産地消への様々な取り組み・突撃インタビュー清瀬の素敵な先生たち

巻頭特集 清瀬の歴史・文化への取組

図書館の資料で知ろう！清瀬の歴史と文化

皆さんは図書館を利用したことがありますか？定期的に利用している方、宿題のために利用する方、時間がなくて利用できない方など様々だと思いますが、図書館は赤ちゃんからお年寄りまで、市民の方でしたらどなたでも、無料で利用していただくことができます。

新刊書は書店や Web から購入して読むことができますが、出版が古い本は絶版や品切れで手に入らないことが往々にしてあります。そのような時こそ図書館をご利用ください。出版の古い本も所蔵していますので、買えなかった本を借りて読むことができますし、雑誌や新聞のバックナンバーの他、CD やビデオテープ、DVD の貸出しもを行っています。

また、市内の図書館で所蔵していない資料は、国会図書館や都立図書館、都内の他の自治体の公立図書館から借用することもできます。お探しの本が見つからないようでしたら、お気軽に図書館職員に声をおかけください。

図書館は日々出版される新刊図書を収集し、できるだけ早く皆さまに提供することと併せて、清瀬市の歴史や文化について記された資料を収集し、保存に努めることが大きな役割となります。

今回は、図書館で所蔵している、清瀬市の歴史や文化に関する資料をご紹介します。

清瀬市の歴史や文化に関する資料

○郷土資料(市内各図書館)

清瀬市と、近隣市の郷土・地域に関する資料です。

「清瀬市史」をはじめ、昔から今に継がれている「清瀬中里の年中行事」、市内で発掘された遺跡の調査報告、病院の記念誌、小学校の副読本「わたしたちの清瀬」は昭和 43 年のものからあり、当時の街の様子が偲べれます。昭和以降の清瀬の人々の暮らしぶりは、「清瀬の 365 日」「清瀬のあゆみ」などの写真集でかいま見ることができます。清瀬市有形民俗文化財に指定された「うちおり」という織物についての資料もあります。

また、現在の清瀬市南側の地区は昭和になるまで、その大部分が雑木林でした。今でも一部雑木林が残っており、清瀬の自然を守る会が、清瀬に生息する動植物を調査し発行した「清瀬の自然」「清瀬の野鳥」「緑守れた」等の本も、貴重な郷土資料として所蔵しています。



○清瀬市の作家コーナー(中央図書館)



石田波郷氏は、上京して活動していたところ結核にかかり、この療養所に入所しています。氏の句集や随筆、伝記もこちらで展示しています。中央図書館に隣接する中央公園には氏の句碑もありますので、ぜひ一度、散歩かたがたご来館ください。また、市で毎年開催している石田波郷俳句大会は今年で7回目となり、多くの皆さまに参加していただいています。

真島節子氏は、市内に住んでいらっしゃる絵本作家です。

「ありがとうさがりめ」「あんたがたどこさ」などのわらべうた絵本を多く描いていらっしゃいます。わらべうたは、親子のコミュニケーションの手段として、子育て支援の観点からも見直されています。氏の著作は、中央図書館の清瀬市の作家コーナーのほか、元町こども図書館の長谷川みち子文庫コーナーに集めています。(長谷川みち子文庫は、市内にお住まいだった故長谷川みち子氏のご寄付により購入した絵本のコーナーです。)

その他、内科医として国立療養所東京病院に勤務されていた歌人の上田三四二氏の歌集、小説、随筆や、入院中に第 31 回芥川賞を受賞された吉行淳之介氏の作品「驟雨」等もあります。

○結核関連図書

清瀬市内には、かつて多くの結核療養所や関連施設があり、結核医療に多大な功績を残してきました。現在も結核研究所に、世界各国の医師の方々が結核治療について学びに来ています。

こうした世界的な貢献を果たしてきた事実を多くの人に知っていただこうと、市では、世界医療文化遺産としての取り組みを進めています。

図書館でも今年度は、結核関連図書を集中して購入し、展示コーナーの設置を予定しています。

清瀬市には先人から連綿と継がれてきた、素晴らしい歴史や文化があります。そのような今まで知らなかった清瀬市を、ぜひ図書館で見つけてください。

※詳しくは中央図書館まで ☎493-4326

野塩地区の発掘調査から



郷土博物館
マスコットキャラクター
ひいらぎちゃん

郷土博物館では、昨年度市内の野塩地区の2ヶ所で記録保存の為の発掘調査を行いました。ここではこの調査について紹介します。



住居跡検出状況

遺跡ってなに？

昔の人たちが生活をしていた跡を遺構、使っていた道具を遺物と呼んでいます。これを総称して遺跡と呼びます。遺跡を調べることで昔の人たちの暮らし方や考え方がわかります。

遺構があるってどうしてわかるの？

私たちの住んでいる足元には、いろいろな土が積もっています。昔の人が掘った穴は、後の時代の土によって埋められているため、土の色の違いや硬さ、混ざっている遺物などに違いがあります、この違いを見つけることで遺構を見つけていきます。上の写真の遺

跡上部には半分しか見えていませんが真黒な土で埋まった、平安時代の住居跡が見えています。遺跡下部にも黒い部分がありますが、これは縄文時代の表土で、その中にも丸い平安時代の柱穴を見つけることが出来ました。このように複数の時代が見つかることもあり、遺跡の調査にはある程度の知識と経験、時間が必要になります。

発掘調査の成果

今回の発掘調査では2ヶ所の調査地点を合わせて、代表的な遺構として縄文時代の住居跡が2軒、土坑4基、集石遺構が2基、平安時代の住居跡が3軒、掘立柱建物跡が4棟見つかりました。他にも多くの土坑や柱穴が見つかっています。縄文時代の土坑からは前期（今から5000年前）の十三菩提式と呼ばれる土器が出土しました。破片ではこれまで見つかっていましたが、これは、ほぼ形を保ったまま穴の中に埋められており清瀬市内では、初めての発見となりました。周辺の地域においても、事例は少なく大変に貴重なものです。



遺構完掘状況

博物館での展示も考慮し、出土状態のまま、土ごと持ち帰りました。清瀬の中でも、野塩西原地域は早くから人々が住み着いた場所であり、平安時代の悲田処との関係が注目されています。

※詳しく郷土博物館まで
☎493-8585



十三菩提式土器出土状況

清瀬市が大健闘！ 東京都市町村総合体育大会

今年で48回目を迎える東京都市町村総合体育大会が、7月に開催されました。

伝統あるこの大会は、多摩地域を舞台に、スポーツを通じて健康増進、体力向上を促し、また市町村間の交流をも図ることを目的として開催されています。競技会場は東京都の30市町村を5つのブロックに分けて持ち回りで開催し、市町村対抗で得点を競い合います。



渋谷市長による始球式



緊迫した試合の中でジャストミート!(軟式野球)



ハイタッチを交わす代表選手(ソフトテニス)

開催競技

陸上・卓球・ソフトテニス・バレーボール・
バドミントン・水泳・軟式野球・剣道・柔道・空手・弓道・
ゲートボール・ダンススポーツ・ソフトボール



清瀬市軟式野球連盟の原口選手による選手宣誓

今回は、清瀬市、小平市、東村山市、東久留米市、西東京市の5市で構成される、第5ブロックでの開催となりました。なかでも清瀬市は初めて大会の幹事市となり、清瀬けやきホールでの開会式をはじめ、軟式野球やソフトテニス、ゲートボール、ソフトボールの4競技を市内で開催しました。各市町村を代表した選手達が、約一か月にわたって14競技22種目の熱い戦いを繰り広げ、各競技会場は大いに盛り上がりを見せました。

清瀬市からは、112名の選手が10種目の競技に出場し、日頃の練習の成果を発揮しました。結果は、ゲートボール競技が準優勝、バレーボール競技(男子)が3位と幹事市として相応しい好成績を収めることができました。

次回大会は、多摩市が幹事市として開催されます。興味のある方は、是非ご参加ください。

5年後の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、今から皆さんも体を動かし、スポーツで清瀬市を盛り上げていきましょう。

※詳しくは生涯学習スポーツ課まで
☎495-7001



青い空と緑の大地の中で熱戦が!(ゲートボール)



気合を入れて「よろしくお願いします!」(ソフトボール)



中澤
副市長

伊藤
市長

坂田
教育長

松村
委員長

清瀬市総合教育会議を開催

～総合教育会議とは～

平成27年6月19日(金)に平成27年度清瀬市総合教育会議が開催されました。

この会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成27年4月1日に施行されたことに伴い、地方公共団体の長が設置することとなったものです。本法律の改正は、教育の中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図ることを目的としております。会議は市長が招集し、市長及び教育委員会によって構成され、教育大綱の策定や教育に関する重点的な施策等について協議・調整を行うこととなっています。

～会議の内容～

会議の冒頭に伊藤市長は、「教育はすごい力を持っている。市長部局と教育委員会が一体となって取り組むことによって、心豊かな子供が一人でも多く育つように本会議をきっかけとしたい。」と述べ、総合教育会議に期待を寄せました。

会議では、まず会議の運営及び趣旨説明について、次に、教育大綱について話し合われました。教育大綱については、現行の清瀬市教育総合計画マスタープランの5本の柱を継承していくことが確認されたほか、学校における地域支援機能の強化、体験活動の充実、地域の歴史・伝統・文化の継承していく持続可能なシステム作り、いじめや不登校への対応の充実、一人一人の学びが地域にも生かされる「学びの循環」のシステムの研究について活発に意見が出されました。



参加者

伊藤市長
中澤副市長
松村教育委員長
植松職務代理者
稲田教育委員
宮川教育委員
坂田教育長

放課後の教室でプラスの学びを

平成26年度よりスタートした放課後補習教室。今年度も、小学校は6月より中学校は夏季休業中より開始しました。算数・数学の前学年までの学習内容をもう一度学びたいという児童・生徒を対象に、10名に講師1名(平均)という少人数クラスを編成し、復習や確かめ問題に取り組んでいます。

小学校6年生

最終的には「自分から学ぶ」ことを目指し、少しずつ段階を踏んで、着実に力をつける学び方を身に付けます。学力向上への一歩です。

講師が個別に声をかけ、進捗を確かめ、個々の弱点・苦手分野を把握しながら進めています。また、子供たちは分からないことがあるとすぐに質問ができます。ちょっとしたつまづきをその場で解消することで、子供たちは安心して学ぶことができます。



はじめに学力診断調査を行います。その結果から一人一人に合った学習課題を作成します。「オリジナル学習課題」によりできない問題ができるまで、しっかり復習を繰り返します。「できた、わかった」の喜びが、学習の達成感につながり、学習意欲が高まります。

この教室では、前に学習したことをじっくり学び直すことを大切にしているため、基礎を固めることになり、確実に学力を伸ばすことができます。

「集中できる」「それぞれのペースでやっているの、質問をすぐにできる」「競い合っている」「今までの疑問が解消されるので、スッキリして楽しい」「苦手じゃなくなる」学習が楽しい!と笑顔で語る子供たちです。



中学校3年生

「どこが違っているかわかりますか。」学習の総まとめとなる3年生の時期に、まずはできるだけ子供自身につまづきを発見させます。子供の自主性を大切にしつつ、大事なところを補います。

近づく受験に向けて、一つずつ自信をつけるためにも丁寧な復習は有効です。

※詳しくは指導課まで
☎497-2552



より良い授業づくりを目指して～夏季休業日中の教員研修から～

子供たちの学力向上のためには、一人一人の先生が「よりよい授業」をすることが必要です。夏休みの期間は、先生たちにとっても、「よりよい授業」のための研修の貴重な機会です。ここでは、今年度初めて取り組んだ、武蔵野大学との連携による「ICTの活用と理科教育研修」の場面を紹介します。

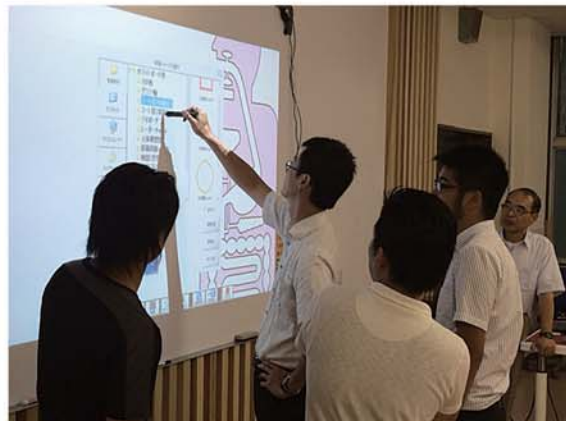
武蔵野大学の理科実験教室「Active Sciece Lab」



電子黒板、ワイヤレス教材提示装置、デジタル生物顕微鏡など、最新の設備がそろった理科実験室。

同じ装置が清瀬市の各学校にあるわけではありませんが、これらの機器を使った、視覚的に「わかる」「伝わる」授業の体験は、2学期以降の先生たちの指導に向けて具体的な参考となったことでしょう。

先生たちにとっても貴重な勉強の機会です。大学の先生の話に熱心に聞いたり、最新の設備を使って実験や観察の取り組み姿からは、2学期からの理科の授業の改善に臨む先生たちの意気込みが感じられました。



清瀬市教育委員会は、一昨年度十文字女子大学と、また昨年度、武蔵野大学と連携協定を締結しました。今回の研修会のように、大学の先生方の指導を受けたり、大学の設備をお借りしたりしながら、清瀬の先生たちの授業の力を、いっそう確かなものにしていきます。

※詳しくは指導課まで ☎497-2552

教育委員会の動き

平成27年3月から平成27年8月までの審議状況をお知らせします。
この間に定例会を6回、臨時会を1回開催しました。議決された議案は下記のとおりです。

●清瀬市教育委員会委員長選挙について ●清瀬市教育委員会委員長職務代理者の指定について ●清瀬市スポーツ推進委員の選任について ●平成27年清瀬市立学校教育課程について ●事務の臨時代理の承認について ●清瀬市立図書館協議会委員の選任について ●清瀬市立中学校教科用図書採択要綱について ●清瀬市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要綱について ●第2次清瀬市教育総合計画検討委員会設置要綱の制定について ●清瀬市教育総合計画マスタープラン計画期間の延長について ●平成27年度清瀬市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について ●清瀬市立中学校教科用図書採択について ●清瀬市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択について ●通学区域見直しに係る区域別対応措置(下清戸一丁目及び三丁目の一部の区域)の指定解除について

新鮮な野菜はおいしいね！

清瀬市教育委員会では、清瀬産のおいしい野菜や果物を給食に取り入れる「地産地消」の取り組みを行っています。子供たちは食べ物を通して色々なことを学んでいます。

清瀬第三小学校では食育の一貫として、地場産野菜の皮むき体験を低学年で実施しています。1年生はそらまめ、2年生はとうもろこし、3年生はえだまめの皮をむきました。

2年生は、とうもろこしの授業で食用だけでなく油や飼料、燃料等に使われていることを実物に触れながら学びました。

皮むきでは、皮の枚数や粒・ひげ(絹糸)を数え、とうもろこしによって数が違うこと、とうもろこしのひげ(絹糸)はだいたい、700から800あり、粒の数と一緒に数えると驚きも多かったと思います。むき終ったとうもろこしは、茹でて給食でいただきました。

清瀬第二中学校では、本年も清瀬市で作られた野菜を農家から直接学校に納品していただいています。7月までに人参、じゃがいも、ほうれん草や小松菜などたくさんの野菜が給食に登場しました。また、食べる前には各クラスの保健給食委員が、毎日栄養士の作った「給食メモ」を読みあげ、清瀬産の野菜がどのように調理されているかを知りました。食べることを楽しみに、自らの食事を管理していく力を身に付けられるような取組を今後も行っていきたいと考えています。

二中のHPにも給食の写真が掲載されていますので、是非ご覧ください。



とうもろこし



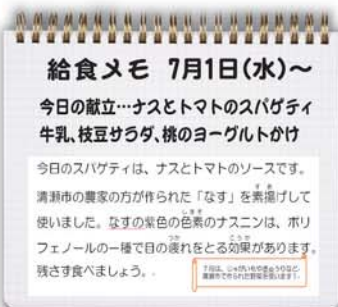
そらまめ



※詳しくは教育総務課学務係まで
☎497-2539



いただきます



第3回 突撃インタビュー! 清瀬の素敵な先生たち

清瀬の小・中学校でがんばっている先生たちを紹介していきます。

第3回目は清瀬第四中学校の太田陽一先生です。

○どのような仕事を担当していますか?

3年生の担任で、部活動では吹奏楽部の顧問をしています。その他、生活指導や特別支援のコーディネーター、学校ホームページの作成も担当しています。

○先生になろうと思ったのはなぜですか?

学生時代の部活動を通じて中学生や高校生の無限の可能性に魅力を感じ、自分も教育に携わりたいと思ったからです。

○清瀬第四中学校の良いところを教えてください。

とにかく明るく人懐っこいところ。吹奏楽部の先生たちも、歌ったり踊ったり、小道具を使ったりして…笑いをとることがとても上手です。

○生徒と関わる時に大切にしていることは何ですか?

生徒の可能性を信じることです。

四中吹奏楽部は2年連続で東京都吹奏楽部コンクールで金賞を受賞しています。



Yoichi Ota



◆本紙の音声版をウェブサイトで配信しています。また、秘書広報課で音声版を収録したCDを貸出しています。

編集・発行

清瀬市教育委員会

電話 042-492-5111 (代表) FAX 042-495-3940

ウェブサイトURI <http://www.kiyose.ed.jp/>

教育委員会だより きよせ

検索

本紙へのご意見・ご感想をお寄せください。